

「望ましい最期」考える

県、医療・ケア検討会発足

県は26日夜、「人生の最終段階における医療・ケアのあり方」に関する検討会を発足させた。在宅での穏やかな死や延命治療の利用の有無など、「望ましい人生の最期」を県民が自ら決定するための一助となる方策を、2年後をめどに取りまとめる。

県によると、長寿命かなど、自らの取り組

県は26日夜、「人生の最終段階における医療・ケアのあり方」に関する検討会を発足させた。在宅での穏やかな死や延命治療の利用の有無など、「望ましい人生の最期」を県民が自ら決定するための一助となる方策を、2年後をめどに取りまとめる。

県は26日夜、「人生の最終段階における医療・ケアのあり方」に関する検討会を発足させた。在宅での穏やかな死や延命治療の利用の有無など、「望ましい人生の最期」を県民が自ら決定するための一助となる方策を、2年後をめどに取りまとめる。

県は26日夜、「人生の最終段階における医療・ケアのあり方」に関する検討会を発足させた。在宅での穏やかな死や延命治療の利用の有無など、「望ましい人生の最期」を県民が自ら決定するための一助となる方策を、2年後をめどに取りまとめる。

県は26日夜、「人生の最終段階における医療・ケアのあり方」に関する検討会を発足させた。在宅での穏やかな死や延命治療の利用の有無など、「望ましい人生の最期」を県民が自ら決定するための一助となる方策を、2年後をめどに取りまとめる。